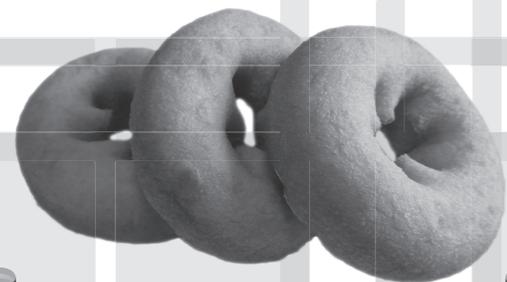


ドーナツ&焼き菓子ブランド ディブランチ

D-branch

D-branchって？



パックドーナツ
各108円(税込)

クロワッサン生地をチョコチップ入りのメロンパン生地で作って一つ一つ優しく包んだだご学園オリジナルのパン、メロワッサン。

クロワッサン生地をメロンパン生地で包んだパンが流行していると知り、京都市だご学園でも開発してみたところ、好評を得たのがこのメロワッサンだそうです。かつてメロンパンの移動販売で一世を風靡したという京都市だご学園の技術指導者が開発しました。

バターを使用した風味豊かなクロワッサン生地のふわふわ感と、メロンパン生地の甘さとサクサク感が同時に味わえます。こちらも値段は手ごろで、ちょっとした昼食やおやつにぴったりのパンです。

「D-branch」とは、障がい者就労支援施設「京都市だご学園」のドーナツ&焼き菓子ブランドのこと。京大生協時計台ショップと南部購買では、10月現在、以下のドーナツとパンが販売されています。

優しく素朴な味わいが魅力のバックドーナツ。味はアメリカン・オールドファッション・ツイン・ほうじ茶・豆乳の5種類で、1パック3個入り。

「家族みんなで、安く、おいしく食べてもらいたい」という願いから、京都市だご学園の製品は基本的には1パック108円で販売されています。

中でもおすすめはほうじ茶ドーナツと豆乳ドーナツ。ほうじ茶ドーナツは宇治田原にある上辻園のほうじ茶をパウダーにして使うことで、ふわとした仕上がりになっています。また豆乳ドーナツは、豆乳だけでなく大豆のパウダーを使うことで風味を豊かにしています。



メロワッサン
108円(税込)

京都市だご学園にインタビュー！

京都市だご学園について

—D-branchを作っている京都市だご学園とはどのような施設なのですか。

京都市だご学園では2種類の事業を行っています。一つは有期限で企業で働くための支援を受ける事業、もう一つは施設内で働きながら企業への就職を目指す、あるいは施設そのものを就職先として働く事業です。D-branchは後者の事業です。

施設を利用する障がい者の方は、できることとできないことの凹凸が大きく、また自分で計画を立てて実行するという

ことが苦手です。でも、彼らは一度覚えたルールは律儀に守ります。私達は、彼らは何が得意なのか、今困っていることは何なのかを見極めながら、どうすれば本人がそれを理解し乗り越えていけるのかを考え、本人にわかるやり方で伝える努力をしています。そんな毎日の繰り返しの中で、今では彼らだけの力でスムーズにできる仕事も増えてきました。彼らが生きがいをもって働く仕事の仕組みを作ること。それが私達職員の仕事だと思っています。

京都市だご学園の園長、寺地ヒサ子さんにインタビューを行いました。



▲メロワッサンのラベル貼り。手作りのジグに合わせてラベルを貼っていけば、正確に作業ができる



▲米粉ドーナツ。生クリームを入れているのでしっとり、ふわふわとしている

—「米粉ドーナツ」や「玄米クッキー」などの新商品を開発されていますが。

お客さんからこういう商品が欲しいと言われたらすぐに開発してみるようにしています。例えば米粉ドーナツは、小麦アレルギーの人でも食べられるドーナツを作ってほしいという声を受けて開発しました。今後は秋には栗を使った商品など、季節に合わせた商品を作ったり、製品の余った部分を利用して新しい商品を作ったりできたらと思います。

新商品、今後について

—京都市だご学園は今後どのような施設でありたいと思っていますか。

施設の開所以来、たくさんの方に支えていただきながら施設を運営してきました。今では地域の方にもだご学園のことがだいぶ知られるようになりました。利用者の方がこれからも生きがいをもって働ける場所であり、「あそこからはいい匂いがする」と、町のお菓子屋さんとして地域の方や食べていただいた方を笑顔にできる存在でありたいと思います。

出張販売のお知らせ

玄米クッキーや米粉ドーナツなど、普段京大の各ショップでは手に入らない商品が買えるチャンス！ 試食もできるのでぜひ来てみてください！

10月15日(木) 11:00~16:00
@時計台ショップ

